

京丹後市役所 サービスアップ宣言

市民起点の市役所をつくるため
私たちは3つのSに取り組みます

S「信 頼」 より信頼される市役所をつくります！

S「親 切」 より親切な市役所をつくります！

S「スピード」 よりすばやい市役所をつくります！

市役所は、市民の幸福を使命とする公共サービスの提供者であり、職員は、その奉仕者であることを改めて認識し、この「サービスアップ宣言」を本市の行財政改革のスタートとします。

新市誕生の今こそ、「役所が変わった」、「合併してよかった」と市民のみなさんに実感していただけるよう、市役所全体が一丸となってサービスアップに取り組みます。

— 京丹後市職員一同 —

「行財政改革大綱」については、次号で詳しく掲載します。



(峰山幼稚園)

今年は酉(とひ)年

みんなで大切に育てている“にわとひ”と“くじゃく”のように元気にははたまたい!!



喜びは足元に。

喜びの「まほろば」へのさとづくり・まちづくり

京丹後市長 中山 泰

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、すがすがしく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新潟県中越地震や相次ぐ台風災害など大きな災害に見舞われた年でした。本市も、台風二十三号などにより大きな被害を受けたところでありましたが、被災された皆様に対しまして改めて心よりお見舞い申し上げますとともに、本年が、復興を越えさらに一層の繁栄に向けて槌音（つちおと）の心地よく響く、希望萌ゆるおだやかな一年でありますよう、心から祈念を



京丹後市長 中山 泰

ております。さて、京丹後市が誕生して初めての正月を迎え、心も新たに市政の遂行にまい進してまいる所存ですが、今年、京丹後市が目指そうとする将来の方向性を定める第一歩の重要な年になるものと思っております。

一つ二つ、少し閑話休題をさせていただきますと、人には皆「無限の可能性」があります。人は誰であつても父母があり、父母はまた同じく父母を：というご縁のつながりの中で、百年前も、千年前も、一万年前も、そして百万年前ですら、その命の縁は途切れていません。悠久からの連続とした命のご縁の気が遠くなるほどの蓄積として今があります。そして、人ひとりの命、「生」には、膨大な数にのぼるその人の祖先それぞれの命の個性、特性のきらめきを、すべて限りなく宿しており、それゆえにも、一個の命は、かけがえない尊さの中で、限らない可能性に光り輝いています。単純な事実ですが、このことに少しの時間思いを寄せるだけでも、一個の「生」を今いただいたに在ることの、尊さ、喜びがことのほか

ありがたく、深くよく感じられます。また、花は理屈抜きに美しいものですが、土や水の中にある花を構成する成分を、種の働きで引き寄せて、地上に見事に編み上げたものであり、あの色とりどりの花々や果実は、種がちぎりの絵のように土中からくみ上げただけで、実は、全部、土の中にあつただけ、と思うだけで、日ごろやり過ごしている何気ない路傍の土でも何か宝物のように思えてきます。

身近で普遍的な例を出しましたが、世の中、感動や恵み、喜びのタネは、気づかないだけで既にお一人お一人の周りに確実に一杯に満ちています。そして、京丹後市には、豊かな観光と恵まれた自然環境、自然の豊かさを背景に国内で最もおいしいとされる丹後米、ブランド化されつつある間人ガニや京野菜などの農林水産物、伝統と風合豊かな丹後ちりめん、古代製鉄のふるさとに起源する本市の機械金属生産、徐福伝説も残る丹後の豊富な薬草と薬効豊かな多くの温泉、古代丹後王国の輝かしい歴史遺産など、ふんだんな魅力や恵みがいくつも、いくつもあつて、そ

んなふるさとです。喜びは足元にあります。希望や活気にあふれる京丹後市をともに築き上げていけるよう、豊かな自然や特色あふれる歴史・文化・産業を尊び、感謝しながら、このようないつばいの恵みの中で、市民の皆様とともに、感動や喜びのタネをたくさん見出し、特色を活かした形で育んでいきたいと思っております。そして、一人ひとりが支えあい、生かしあつて、高めあつて生きる、喜びの「まほろば」づくりへと着実な歩みをつなげていきたいと期しております。

本市の行財政を取り巻く状況には厳しいものがありますが、厳しい中こそ発展や繁栄の芽が必ずひそんでいきます。新年にあたり、新しい年が市民の皆様にとりましてますます喜びや笑みの多い豊かな年でありますことを心よりお祈り申し上げますとともに、本市のますますの発展を目指して、行政に課せられた諸施策を全力傾注して推進してまいりたいと存じますので、市民の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ともに創ろう

「人・間中心」の京都づくり

京都府知事 山田 啓二

府民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

薄日が差してきたとはいえ、日本列島を多くの台風や、また新潟県中越地震などの災害が襲い、大変厳しい一年となつてしまいました。京都府におきましても、鳥インフルエンザや台風二十三号災害などにより生活を脅かされた方々も多く、今も被災地では復旧のため懸命の努力が続けられていることと思ひます。改めて心からお見舞い申し上げます。

京都府といたしましても、府民の安心・安全を守り支えるため精一杯取り組んできた一年でもありましたが、今年も皆様の生活を守るため、全力を尽くさなければならぬと、誓いを新たにしていく所存であります。

しかしながら、私どもを取り巻く課題は災害だけではなくあります。昨年は青少年による犯罪や青少年が被害者になる犯罪が相次ぎ、不登校の問題、児童虐待の問題など多くの心を痛める事件がおきました。今、経済・物質優先

の社会から、私たちはもう一度「心」優先の社会を希求する必要があると思ひます。

そのためには私は、府政において、素晴らしい自然や文化など「京都ならではの財産」を有効に活かしながら、人を大切にし、人と人との交流を盛んにし、さらには人々の交流を支える基盤に投資していく「人・間（にんげん）中心」の京都づくりの実現に向けて、積極的に取り組んでまいりたいと思ひます。

そして、こうした取り組みを進めるためにも、「信頼」と「絆」による新たな京都の「創造」をキーワードに、地方主権・地域自立の時代にふさわしい、

- ①次代を担う「京の子ども」を育む「学びと子育ての京都」
- ②住み慣れた地域で健やかに充実した生活がえられる「健康長寿の京都」
- ③京都が培った人材や知的資源・文化価値・ネットワークによる「活力の京都」
- ④快適な環境や文化的雰囲気など個性

ある地域をつくる「環境・文化創造の京都」

⑤すべての府民が安心して日々の生活がえられる「安心・安全の京都」

この五つの京都の実現に向けて、府民の皆様のお知恵と力もお借りしながら、一歩一歩着実に前進してまいりたいと考えております。

本年二月には、いよいよ「京都議定書」が発効し、世界が地球温暖化防止に向けて動き始めます。私どもは議定書誕生の地としてその名に恥じぬよう、美しい京都を守っていかねければなりません。

新たな「西（とり）」年が、昨年来の災いを取り払い、そして大きな夢と希望に向かつて力強く勇気をもって翔（はば）たく一年となりますよう、本年も府民の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。



京都府知事 山田 啓二

日本を取り巻く 世界情勢を解説

きょうと北部21世紀セミナー 外務省タウンミーティング「外交の窓」



豊富な経験から
世界情勢をわかりやすく
解説された 村田良平さん

国際理解の促進を図ろうと、元駐米大使で、日本財団特別顧問の村田良平さんを講師に十一月二十七日、アミティ丹後（網野町網野）で「きょうと北部二十一世紀セミナー」を開き、参加者約三百五十人が、世界情勢の現状と課題に熱心に耳を傾けました。

本事業は、京丹後市の誕生を記念して、外務省タウンミーティング「外交の窓」も兼ねて、国際理解の増進を図るとともに、広く世界情勢に目を向け、どのように国際情勢を注視するかを考察する「国際理解セミナー」として、京都府国際センターの主催（外務省・京都府・京丹後市共催）により開催したものです。

午後一時から始まったセミナーでは、第一部として、「世界の中での日」と日本人の評価・役割、「アジアにおける環日本海地域の動きと課題」をテーマに、村田さんが講演。



環日本海地域の重要性を語られた
須藤眞志教授（左）と村田良平さん（右）

村田さんは、外務次官などを歴任された豊富な経験から「以前は欧米文化を優先する考えがあったが、今では、文化相対主義というような、それぞれの文化がそれぞれの価値をもっている」と、アメリカやヨーロッパ、中国、韓国などの例をあげ、国際情勢をわかりやすく解説。

また、第二部として、京都産業大学の須藤眞志教授をコーディネーターにしての対談では、「日本はもっと環日本海地域に目を向け、興味を持たなくてはならない」とアジアにおける外交の重要性を話され、参加者は、うなずきながら聞き入りました。

いま地方自治に 求められるものは

田中一昭教授を招き 「行財政改革講演会」

市民のみなさんにとって、よりよい行政運営のあり方について学ぼうと、拓殖大学政経学部の田中一昭教授を講師に招き、十一月二十六日に峰山総合福祉センター（峰山町杉谷）で「行財政改革講演会」を開催し、市民のみなさんをはじめ、市議会議員、市職員など約二百二十人が、地方の今後の進むべき方向についての助言を傾聴しました。



地方の今後の進むべき方向について
熱く語られた 田中一昭教授

田中教授は、昭和三十四年に京都大学を卒業後、旧行政管理庁に入庁され、環境庁の設立や通産省の組織改革を担当。総務庁行政監察局長や総理府行政改革委員会事務局長などを歴任され、現在は、拓殖大学政経学部の教授を務められるとともに、農林水産省政策評価委員会委員長代理など数々の公職にもつかれ、昨年までは道路関係四公団民営化推進委員会委員長代理などを務められるなど行政改革の先駆者として活躍されています。また、この十月からは京丹後市の「行財政改革推進委員会」の顧問もお世話になっています。

講演では、「官から民へ、国から地方へ」という流れの中で、いま地方自治に求められるものは何であるかを、さまざまな事例をあげてわかりやすく解説。行財政運営について「いいも悪いも市民から一番見える地方・市町村が、自ら決定し、自らの財政

でまかなうことが原点である」と真の魅力あるまちづくりについて熱く語られました。

また、「産業分野において明治時代は、先進国を本手として『追い付き、追い越せ』で政策を進めていたが、今はフロントランナー（先頭）になり手本がない。そのような中、さまざまな施策を進めるにあたっては、限られた人の考えではなく、規制を取り払い多くの人でさまざまな考えを出すことにより、産業・経済・社会に活力が生まれる」と規制改革の必要性を解説。「住民の『誰かがやってくれるだろう』という依存心が地方自治の発展を阻む」と、市民一人ひとりが気概をもつ重要性についてもわかりやすく話され、参加者は行政改革の推進へのアドバイスに熱心に聞き入りました。

京阪神の芸術家が 丹後の魅力を描く

日本画と写真展

京丹後の魅力を発信しよう
と、自然の風景を題材に、京阪神の芸術家による「日本画と写真展」が、十二月四日と五日の二日間、大宮ふれあい工房（大宮町三坂）で開かれ、見事な作品の数々が会場を彩りました。

本事業は、さまざまな活動を通して、地域活性化を図る「大宮アグリ二一塾」（大木満和塾頭）のみなさんなどが企画。農業体験や都市と農村の交流事業を通してつながりのある日本画家・松崎良太さん（滋賀県志賀町）などが、京阪神の芸術家に呼びかけられて開催したもので、三回目を迎えました。

今回は、日本画と写真をはじめ、書やステンドグラス、陶芸など、さまざまな分野の作品のほか、彩り鮮やかな地元野菜も展示されるなど、くつろいだ雰囲気演出。大宮町のブナ林や、岩滝町の一字観公園、天橋立の夜明けの雲海など、身近な自然が描か



来場者は、作品に感心しながら見入っていました

れた作品に、来場者は一つひとつ感心しながら丁寧に見入っていました。

また、利き酒と同様にお茶を味わうとともに、お茶の種類や産地を当てる「茶かぶき」の体験や、布製のランドリーバスケットにアクリル絵の具で花などを描く「トールペイントの体験教室」も催され、参加者はおしゃべりを楽しみながら、にぎやかに絵筆を振るっていました。

京都丹後学会のメンバーが来訪

幽玄な舞が一行を魅了



前日ゆかりのある網野町磯の「静神社」で、地元日本舞踊家・花柳風琴（ふうすい）さんによる「静の舞」が披露され一行を歓迎すると、メンバーは幽玄な舞をカメラにおさめるなど、歴史深い丹後への思いを新たにされていました。

幽玄な静の舞で歓迎

東京都在住で、丹後の歴史を研究する「京都丹後学会」（坂本与一郎会長）のみなさん十五人が、十一月二十一日から二十三日にかけて二泊三日の日程で「京都丹後学修学旅行」として、丹後地域に來訪されました。

同会は、丹後の歴史や文化を研究するとともに、広く丹後をPRする目的で、昨年からは開催されている「京都丹後学」公開講座（同講座実行委員会主催）の受講者で、東京都在住の京都府北部地域出身のかたなどで構成されています。

一行は、「大和建国神話、浦島・羽衣・鬼退治伝説を訪ねて」をテーマに、舞鶴市の金剛院や、大江町の元伊勢神社、宮津市の智恩寺などをはじめ、丹後風土記や古事記、日本書紀に記される建国神話のルートを探訪。

二十三日には、丹後七姫の一人・静御前にゆかりのある網野町磯の「静神社」で、地元日本舞踊家・花柳風琴（ふうすい）さんによる「静の舞」が披露され一行を歓迎すると、メンバーは幽玄な舞をカメラにおさめるなど、歴史深い丹後への思いを新たにされていました。



新しい民生委員・児童委員さんが決まりました 福祉のまちづくりを支援していきます

民生委員・児童委員の任期満了による一斉改選に伴い十二月一日付けで、市内百九十四人のかたが、民生委員・児童委員として厚生労働大臣から委嘱され、同日に峰山総合福祉センター（峰山町杉谷）で行った委嘱式で、中山市長と中村京都市府丹後広域振興局長から委嘱状が伝達されました。



地域における
相談・支援のボランティア
民生委員・児童委員のみなさんに
委嘱状を伝達

民生委員・児童委員の任期満了による一斉改選に伴い十二月一日付けで、市内百九十四人のかたが、民生委員・児童委員として厚生労働大臣から委嘱され、同日に峰山総合福祉センター（峰山町杉谷）で行った委嘱式で、中山市長と中村京都市府丹後広域振興局長から委嘱状が伝達されました。

置が定められ、都道府県知事の推薦により厚生労働大臣から委嘱されるもので、各市町村に設置されている民間の奉仕者で、社会奉仕の精神をもって地域の身近な支援者として活動をしていただいています。

また、児童福祉法により、児童とその家庭の福祉課題などの援助や指導を行う児童委員も兼ねています。

これからの三年間、それぞれの担当地区で、地域の相談役として、生活に困っているかたや、母子世帯、心身障害者（児）、高齢者のかたの自立を助けるなど、地域における福祉活動の担い手として最前線で活躍され、福祉事務所など関係機関と密接に連携を取り合い、さまざまな援助を必要とするかたの力となっていただきます。

秘密は堅く守られますので、福祉に関するご相談や心配ごとがありましたら、お近くの民生委員・児童委員にお気軽に「ご相談ください」。

なお、お住まいの地区の民生委員・児童委員さんについては、市民局単位で発行します「民生委員・児童委員名簿」をご覧ください。

犯罪や暴力のない 安全で住みよいまちづくりは みんなの願い 京丹後市防犯・暴力追放推進協議会を設立

市民の防犯・暴力追放への意識の高揚と、自主的な追放運動の推進を図るとともに、民警が一体となって防犯・暴力追放運動を展開する「京丹後市防犯・暴力追放推進協議会」の設立会議を十一月十八日に、市役所会議室で開き、安全で安心なまちづくりの推進を誓いました。

協議会は、市内各警察署をはじめ、保護司会、防犯協会、商工会、社会福祉協議会、金融機関防犯連絡協議会などが加盟。防犯・暴力追放の啓発や情報交換、被害者の支援など、安全で安心できる環境づくりに連携して取り組んでいきます。

会議では中山市長が「近年、暴力傷害行為や凶悪な事件が増えるとともに、ひったくりや車上荒らし、ストーカー行為など市民生活に身近な犯罪も増加し、犯罪の質的・量的変化が顕著になってきています。安全で明るい住みよいまちづくりの実現のため、行政や警察、関係市民団体が連携し取り組む必要があります」と、安心して暮らせるまちづくりへの協力を要請。役員を選出するとともに今後の事業計画などを確認しました。

また、京都府暴力追放運動推進センターの大西重夫専務理事が「暴力団対策」について講演。「平成四年に暴力団対策法（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律）が施行されてからは、一見して暴力団であることがわからなくなり、また手口も多様化・巧妙化している。地域住民が一体となり暴力を許さない社会づくりが大切」と具体例をあげながら、暴力団の情勢を説明するとともに、市民一体となった運動の重要性を話されました。



安全・安心のまちづくりの推進を誓いました

超一流からアドバイス

オリンピック柔道三連覇 野村忠宏さん

日本人初のオリンピック三連覇の偉業を成し遂げた、柔道六十歳以下級の野村忠宏さん（ミキハウス所属）を講師に招き、十一月二十日に網野体育センター（網野町網野）で柔道教室が開かれました。

本事業は、広くジュニア層にスポーツの楽しさを普及するとともに、競技力の向上を図ろうと、京都府教育委員会などが主催し、昨年度から実施している「未来のトップアスリート育成事業」の一環として開催したものです。

この日は、福知山市、舞鶴市以北の柔道教室に通う小学生や、柔道部の中学生など約二百六十人が参加。金メダルを胸に野村さんが登場すると、大きな拍手とシャッター音に包まれました。

中山市長が、五輪三連覇の祝福と歓迎のあいさつを行った後、子どもたちの質問に野村選手は「小学校、中学校と最初のうちは勝てませんでした。しかし、強くなりたいという思いを持ち続け、苦しい過程を乗り越えたこと、またさまざまなかたとの出会いが財産です」、「目標を持って、常に試合を意識して練習を行えば、自信を持って



一人ひとり丁寧に実技指導された野村忠宏さん（右）

試合に臨めます」などと力強くアドバイス。

続いて、得意技の「背負い投げ」や「大外刈」の実技指導では、手首の使い方や足の運び方、投げのタイミングなど、一人ひとりに声を掛けて丁寧に教え、子どもたちは緊張しながらも目を輝かせて真剣に取り組んでいました。

最後に、野村さんから「まずは基本を大切に、得意技に磨きをかけてください。そのことにより自信が付き、ほかの技もきつとうまくできるようになります。夢と目標を持って何事にも言葉が贈られました。

元・読売巨人 鈴木康友さん

前・オリックスブルーウェーブ一軍コーチで、読売巨人軍が二〇〇二年の日本シリーズを制した原辰徳監督時の一軍内野守備走塁コーチとして活躍された鈴木康友さんを招き、十月二十一日に、峰山球場（峰山町荒山）で「京丹後市中学校野球教室」を開催しました。

同教室は、中学生の野球技術の向上と指導者のレベルアップを目的に開催したもので、市内の中学校野球部の二年生約九十人や多くの指導者が参加。

鈴木さんは、基本を正確に行うことが大切と、試合でのさまざまな場面を想定しながら「ベースランニング」や「キャッチボール」、「守備」などを、見本をみせながら丁寧に指導。

参加した野球部員は、あこがれのプロ野球選手を前に緊張しながらも、少しでもプロの技を習得しようと約三時間の練習に真剣に取り組みました。

鈴木さんは、一つひとつのプレーに「ナイスラン」、「よし、いいぞ」と声を掛けるなど、グラウンド狭しと駆け回り熱心に指導。閉会式では、「妥協を



実際に手本を見せてわかりやすく指導された 鈴木康友さん

私を感じた不安と恐怖

市内に住む一人暮らしの高齢者のかたや、聴覚に障害のあるかたに、昨年の災害時に苦勞したことや不安を感じたことを伺いました。

- ★ 防災無線の屋外スピーカーは、風の音にかき消され、何を放送しているのか聞き取れなかった。
- ★ 防災無線のサイレンはかろうじて聞こえるが、内容までは聞き取れず、何が起きているかはわからない。
- ★ 停電になると、手話や口の動きを読むことができず、コミュニケーションがまったくとれない。
- ★ 2階に在宅中、雨や風の音がまったく聞こえず、気がついたときには1階が浸水していた。
- ★ 突然の停電で何が起こったのかわからず、携帯電話の灯りを頼りに1階に下りるのが精一杯だった。

他にも貴重な意見をたくさんいただき、ありがとうございました。

～被災地のとりくみ～

オリジナルマップで犠牲者ゼロに

災害を経験した被災地では、過去の教訓を生かし、犠牲者ゼロを目指したさまざまな取り組みが行われています。

過去に水害で多くの犠牲者を出したある地区では、町内会の高齢者や身体障害者、町内会未加入者のかたなど、家ごとに色分けしたオリジナル防災マップを作成。災害発生時には、あらかじめ構成された情報収集・救助・避難誘導・食料確保などの班が立ち上がり、独自のマップをもとに活動するよう組織されています。また、日ごろの訓練も積極的に行われ、結成後に起きた災害でも大きな成果をあげています。



住民の手によるマップの作成

■アナログとデジタル

昨年の台風で被害にあわれたかたへ実施したアンケートや取材の中で、こんな声がありました。「突然の停電に事態がみ込めず、ひとり不安におびえていたところに届いた、安否確認のための一通の携帯メール。外部との連絡が取れたことが何よりうれしかった」、また「近所のかたや区長さんが直接声をかけてくれたので安心した」と振り返るかたもおられました。

電時にはとても役立ち、なかでもメール機能は、混信の影響を受けにくく、災害時の連絡手段として大いに注目されています。しかし、高齢者のかたにとっては、その機能を使いこなすことは大変なことです。

一方、昔ながらの近所付き合いを大切にしたい声かけは、誰にでもできる対策です。



支え合う気持ち

■環境づくりとアピール

地域では、防災訓練や各種の行事が行われますが、災害弱者など行動に制約があるかたには、参加はもとより、その機会すら少ない現実があります。サポート体制の課題もありませんが、災害弱者のかたを含めた、多くのかたが参加できる環境づくりが必要ではないでしょうか。



積極的に地域参加を

■つなぎ合う心

大きな災害が起きると、そこには必ずボランティアの存在があります。助け合い、支え合う気持ちに、人のつながりの大切さを実感します。

地域防災は、それぞれの立場で感じる不安や戸惑いを理解し、共有することが大切ではないでしょうか。

わが身を守ることも大切ですが、地域の中から犠牲者を出さない、「命綱をつなぎ合う」そんなまちでありたいものです。

消防の志場

たんごの風 23号

119

火災・救急・救助

代表 62-0119

総務課 62-8119
管理課 62-8129
予防課 62-5119

あなたの命綱は

災害弱者と地域防災



※「災害弱者」…65歳以上の高齢者や心に障害があるかた、小さなお子さんなど、災害が発生した際、自力での避難などが困難と思われるかたを「災害弱者」と呼んでいます。

■わがまちは自分たちで

災害が発生したときの対応は、市役所、消防、警察などの行政機関が中心となつて行われるものです。しかし、昨年のような大災害が起こると、住民のすべての要望に対応することは非常に困難です。そこで注目されるのが、自治会など地域での防災です。

自主防災は、阪神淡路大震災から話題となり、自治会で行くから災害に備える動きが各地で見られるようになってきました。



多くのかたが犠牲になった阪神淡路大震災

また、地域に根ざした消防団は地元の情勢に詳しく、ひとたび災害が発生すれば救助や復旧活動に大きな役割を果たし、地域防災のかなめと言えます。

「わがまちは自分たちの手



地域防災のかなめ

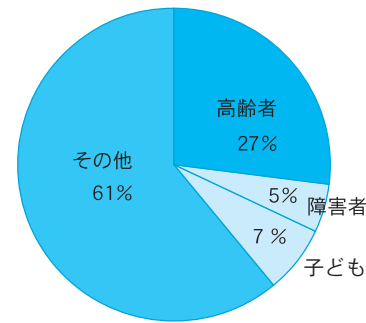
で守る」その思いが地域防災の原動力となります。

■4割が災害弱者

全国的に高齢化が進み、京丹後市でも六十五歳以上の高齢者のかたは全体の二七％を占めています。加えて核家族化による高齢者のかたのみの世帯が年々増加しています。

また、視覚や聴覚に障害のあるかたも多く、中には視覚・聴覚ともに不自由なかたもおられます。

京丹後市では、子どもを含めると約四割が、この災害弱者ということになり、五人に



構成状況

二人が何らかの援助を必要としているかたということになります。

火災を含めたあらゆる災害において、災害弱者のかたが犠牲になる確率は高く、そのようなかたに、どんな不自由・不便があつて、どのような援助・対策が求められているか、まず理解することが、防災対策を考えるうえで、重要ではないでしょうか。

■いつも抱える不安

災害時に大切なのは、正しい情報を知ることです。

しかし、情報を知る手段に限りがある災害弱者のかたにとって、その情報を知ることが難しいのです。

たとえば、視覚でしか情報を得られないかたにとって、停電は深刻な問題となります。テレビからの情報はもちろんのこと、手話も使えず、口の動きを読み取ることもできず、「いくつかの内のひとつ」ではなく、「唯一の手段」を失うことになるからです。

常に「いま何が起きているのか」という不安を抱いておられるようです。

あなたの声を市政に ご意見箱

市民のみなさんからご意見箱にいただいたご意見を紹介します。

なお、紙面の都合によりご意見などを一部割愛させていただきます。

ご意見箱の用紙

ご意見箱用紙を市庁舎まで取りに行き、その意見を箱まで持参しなければなりません。この画一的、わずらわしさは考慮されてしかるべきでは。

また、年齢の記入について、特に女性には嫌悪されるのではないかと。どうしてもというのであれば、年代別程度の分類ではどうか。受付方法もフアクシミリでの送付も考慮してはどうか。

【市内男性】

ご意見箱は、市民のみなさんから市政に対するご意見、ご提案、ご要望をお聞かせいただくため、八月から市民局と弥栄病院、久美浜病院の計

八か所に設置しています。ご指摘のように、用紙の取得、投函について市民局へ行っていただくかなければならないこととお手数であると思えますが、提出方法については、郵送やフアクシミリなど、ご意見箱への投函以外の方法でも結構ですので、多くのご意見をお待ちしています。

また、ご意見用紙の年齢記入欄については、必ず記入していただくものではなく、ご意見の参考とさせていただきます。

ごみ分別の立ち番にあたるのはほとんどが高齢者である。判断に迷ったときや、家庭での分別のときに確実にわかる

ごみ分別虎の巻の発行

【秘書広報課】

ごみの分別の立ち番にあたるのはほとんどが高齢者である。判断に迷ったときや、家庭での分別のときに確実にわかる

個別の物品の分類表（五十音順の索引のついたもの）のよくな虎の巻をつくって各家庭に配布してはどうか。サイズもB5版以下の手ごろなもので、他の自治体では早くから活用しているという耳にする。

【市内男性】

ごみの分別収集およびリサイクルの推進は、ごみの減量化を推進する上で必要不可欠と考えます。このため、ごみの分別については、合併前から旧町の各区の協力により、ごみステーションでの分別指導をお世話になるとともに、ご家庭にゴミの出し方などに関する印刷物を配布し、広報に努めています。また、合併前にご家庭に配布した「京丹



物品数が多く分別が難しいプラスチックごみ

後市暮らしのガイドブックでも、生活環境の項目の中で掲載しています。ご意見にあるような五十音順による個別の物品の分類表については、物品数が膨大なうえ、新商品の発売や分別方法の変更が予想されるため作成を見合わせていますが、今後の検討のうえで、参考にさせていただきます。【環境推進課】

国道・府道の補修

網野町浜詰地内の国道178号には、いつも水たまりができる場所があり、片側通行になってしまつので早急に対応してほしい。

久美浜町永留から声原にかけての市道は、大雨のたびに水たまりができて、中学生が通学するのに大変危険です。早急に補修をお願いします。また、その横を流れる川にはえた雑木が道路側に倒れていて危険なので伐採してください。

【無記名】

ご意見の国道、市道について現地調査したところ、国道については、現地の路面が数

十路にわたり前後の路面高より低く、水がたまりやすい状況となっていました。また、市道については、水たまりの部分で、周囲の路面に比べ部分的に低くなっているところがあり、大量の降雨の後に水たまりが発生する状況でした。いずれの道路についても、急激的な対策により一時的に水たまりの発生を解消することはできませんが、恒久的な対策として路面のかさ上げなどを行う必要があります。

また、河川の雑木の伐採についても現地調査を行ったところ、すでに伐採され改善されている箇所が、河川管理者である京都府に問い合わせたところ、河川敷外の雑木に



晴れた日でも水たまりがある網野町内の国道178号



道路のすぐ横の山林からの雑木がはえていた久美浜町内の市道

【管理課】

今回のような道路の安全対策については、土地所有者の責任で処理していただく必要があるとのことでした。市としては、道路の通行の安全や、河川の通水断面の確保を図るため、該当地域の区長さんを通じて土地所有者に対して雑木の伐採をお願いすることとなります。

ご意見箱は、市民のみなさんから市政に対するご意見、ご提案、ご要望をお聞かせいただくため、八月から市民局と弥栄病院、久美浜病院の計八か所に設置しています。ご指摘のように、用紙の取得、投函について市民局へ行っていただくかなければならないこととお手数であると思えますが、提出方法については、郵送やフアクシミリなど、ご意見箱への投函以外の方法でも結構ですので、多くのご意見をお待ちしています。

市発注の随意契約

市役所が発注する仕事は、どのような基準で「競争入札」と「随意契約」を使い分けているのか。もし、金額であるなら具体的な金額を明示されたい。

また、随意契約を行う場合、どんな基準で業者を決定しているか。「簡易なものだから」、「近いから」などの理由で、随意契約が行われているのではないかと。

ほぼ、旧峰山町の業者のみが随意契約で仕事を受注しているように聞かれました。ほかの五町の業者に順番で随意契約できるように発注したらどうか。

【無記名】

随意契約ができる場合については、条例で定める金額以内の場合のほか、緊急の必要がある場合や、時価に比較して有利な金額で契約できる見込みがある場合などに限られており、このことは、地方自治法施行令第百六十七条の二第一項第一号から第七号に規定（※）されています。

市では、同施行令第百六十七条の二第一項第一号に基づ

き京丹後市契約規則で、随意契約の限度額について、次にかかげる額以下の額の予定価格の契約と規定し随意契約を行っています。

- (一) 工事または製造の請負 百三十万円
- (二) 財産の買入れ 八十万円
- (三) 物件の借入れ 四十万円
- (四) 財産の売入れ 三十万円
- (五) 物件の貸付け 三十万円
- (六) 前各号に掲げる以外のもの 五十万円

随意契約は、手続きが簡略であり、かつ経費の面でも一段と負担が少なくてすむという利点があります。しかし、いったん運用を誤ると契約の相手方が固定化し、しかも契約自体が情実に左右され、公正な取引の実を失う恐れもあるため慎重に取り扱うこととしています。

随意契約については、できるだけ市内の業者を選定することとしています。請負工事や委託業務を除き、役務、物品の調達などについては、緊急性などの事情により本庁所在地の業者へ集中する傾向にあるように見受けられます。

今後は、随意契約の利点を

別表第5

一 工事または製造の請負	都道府県及び指定都市	
	市町村	百三十万円
二 財産の買入れ	都道府県及び指定都市	八十万円
	市町村	四十万円
三 物件の借入れ	都道府県及び指定都市	四十万円
	市町村	二十万円
四 財産の売入れ	都道府県及び指定都市	三十万円
	市町村	二十万円
五 物件の貸付け	都道府県及び指定都市	三十万円
	市町村	二十万円
六 前号に掲げるもの以外のもの	都道府県及び指定都市	五十万円
	市町村	三十万円

※地方自治法施行令第167条の2第1項第1号～第7号

- 1 売買、貸借、請負その他の契約でその予定価格（貸借の契約にあっては、予定貸借料の年額又は総額）が別表第五上欄に掲げる契約の種類に応じ同表下欄に定める額の範囲内において普通地方公共団体の規則で定める額を超えないものとするとき。
- 2 不動産の買入れまたは借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工または納入に使用させるため必要な物品の売入れその他の契約でその性質または目的が競争入札に適しないものとするとき。
- 3 緊急の必要により競争入札に付すことができないとき。
- 4 競争入札に付すことが不利と認められるとき。
- 5 時価に比して著しく有利な価格で契約を締結することができる見込みのあるとき。
- 6 競争入札に付し入札者がいないとき、または再度の入札に付し落札者がいないとき。
- 7 落札者が契約を締結しないとき



浜公園を一斉にスタートする各校の第1走者

「第六十六回関西学生対校駅伝競走大会」が、十一月二十一日、久美浜町浜公園をスタートし島崎公園グラウンド（宮津市）をゴールとする八区間八二・八キロのコースで二十校が参加して行われました。

レースは、京都産業大学が、昨年、三十八年ぶりに優勝し連覇を狙った立命館大学を抑え、4時間7分25秒で二年ぶり二十七回目の優勝見事昨年の雪辱を果たしました。

東の箱根駅伝と並び称される西の関西学生駅伝は、晩秋の丹後路が舞台となって今年で

京産大昨年の雪辱果たす 関西学生駅伝

- 成績（上位3校）**
- ①京産大 4時間7分25秒
 - ②立命大 4時間10分30秒
 - ③奈良産大 4時間16分33秒

十八回目。「丹後でも本格的なレースを」と昭和六十二年から始まったものです。

当日は、時折、小雨がふる天候でしたが、スタート地点の浜公園や、市内の沿道では、出場校の卒業生や、周辺の住民らが駆けつけ、横断幕や小旗を持って力走する選手に声援をおくっていました。

地元陸上関係者や市内外の企業の協賛を得て運営されていた同大会。来年からは会場が琵琶湖周辺のコースに変わるため、丹後でのレースは今年が最後となりました。

- 各部門の上位三位は、次のとおりです。
- 【男子一般1部】**
- ①チーム耐ヶ畑A 57分45秒（大会新）
 - ②楽しく走ろう会 59分22秒（大会新）
 - ③がんばろう須賀街 1時間02分11秒
- 【男子一般2部】**
- ①丹後RC 48分31秒（大会新）
 - ②タケチャンファームTRC 51分09秒
 - ③加悦走友会 54分22秒
- 【男子学生1部】**
- ①高龍中駅伝部 51分55秒
 - ②久美浜中学校陸上部A 52分12秒
 - ③高龍中学校バスケットボール部A 58分43秒
- 【男子学生2部】**
- ①網野高校B 49分43秒（大会新）
 - ②豊岡高校男子 50分33秒（大会新）
 - ③網野高校A 50分39秒（大会新）
- 【女子一般2部】**
- ①高龍中駅伝部女子 58分43秒
 - ②マツサルマツサル 1時間06分34秒

12秒③高龍中学校バスケットボール部A 58分43秒

【男子学生2部】

- ①網野高校B 49分43秒（大会新）
- ②豊岡高校男子 50分33秒（大会新）
- ③網野高校A 50分39秒（大会新）

【女子一般2部】

- ①高龍中駅伝部女子 58分43秒
- ②マツサルマツサル 1時間06分34秒

「人生捨てたもんじゃない」

寒川進選手 母校でメダリスト報告会

今年の夏にギリシャ・アテネで開かれたパラリンピック車いす男子四×四〇〇リレーで、見事銅メダルを手にした寒川進選手が、十一月二十九日、母校である網野高等学校を訪れ、メダル獲得の報告と、在校生にメッセージを贈りました。

寒川さんは、「確かにこの学校に僕はいました。たいへん懐かしい二十歳の時に事故を起こし、体が動かないことにすごく苦しんだ。しかし、車いす競技と出会えたことは幸せなことだと思える。事故がなければこのような経験はできなかった。人生は捨てたもんじゃない。がんばれば、人生は何が起るかわからない」と自らの人生を振り返りながら話していました。



在校生の大きな拍手の中入場する寒川選手（網野高校体育館）

紅葉の久美浜湾で 91チームが健脚競う

久美浜湾一周駅伝競走大会



すっかり紅葉した山々と、秋の日ざしが映える久美浜湾をバックにたすきをつなぐ選手（第5中継所）

総合順位

(上位10位まで)

順位	チーム名	1区	2区	3区	4区	5区	6区
1位 (男子一般1部1位)	丹後RC	2	1	1	1	1	1
2位 (男子学生1部1位)	網野高校B'	7	6	2	2	2	2
3位 (男子学生1部2位)	豊岡高校男子	11	7	5	6	5	3
4位 (男子学生1部3位)	網野高校A'	1	2	3	3	4	4
5位 (男子学生1部4位)	間人中学校A	8	5	4	4	3	5
6位 (男子一般1部2位)	タケチャンファームT.R.C	13	8	6	5	6	6
7位 (男子学生1部5位)	弥栄中学校駅伝部A	5	9	7	8	8	7
8位 (男子学生1部1位)	高龍中駅伝部	9	4	8	10	9	8
9位 (男子学生1部2位)	久美浜中学校陸上部A	4	3	9	7	7	9
10位 (男子学生1部6位)	弥栄中学校駅伝部B	6	11	10	9	13	10

十一月二十三日（勤労感謝の日）、毎年恒例となった「久美浜湾一周駅伝競走大会」（市教育委員会・市体育協会久美浜支部主催）が、浜公園を発着点とする六区間（一五・六キロ）のコースで行われ、丹後・但馬地方などから参加したランナーたちが健脚を競い合いました。

熱い声援受け力走

昭和四十年から今年で四十回目を迎えたこの大会は、晩秋の久美浜湾沿いを舞台に繰り広げられる名物駅伝として定着しています。

今大会には、市内外から、職場や地域などで仲間を集めた九十一チーム（男子七十四チーム・女子十七チーム）が出場しました。当日は、雲ひとつなくやわらかい秋の日差しが差し込む好天に恵まれたものの、レースには少し気温が高めのコンディション。午前十時に浜公園を一斉にスタートした九十一チーム（男子七十四チーム・女子十七チーム）が

トした九十一チームの選手は、紅葉ですっかり色づいた湾周辺を沿道からの熱い声援を受け汗だくになりながら力走しました。

レースの結果、男子一般二部（久美浜町外社会人）の丹後RCが四十八分三十一秒の大会新記録で総合一位となりました。また、男子一般一部（久美浜町内社会人）、男子学生二部（久美浜町外学生）でも大会新記録が生まれ、レベルの高い大会となりました。



一斉に浜公園をスタートする第1走者の91人

久美浜病院主催の「第一回院内学会」が十二月四日、久美浜庁舎で開かれました。この学会は、市民に十分な医療の質とサービスを提供するために、職員自らが考えるテーマを持って仕事をすることが重要と考えられたもの。この日は、同病院職員のほか医療関係者など約六十人が参加し、研究事例の発表などが行われました。

久美浜病院が院内学会開く 良質な医療サービス提供のために

研究事例などを発表



ビデオプロジェクターを使い研究事例の発表を行う病院職員(左)

間における薬の処方業務を、オンライン化したことによる業務の効率化への寄与や、看護師グループが行ったアンケート調査による患者と看護師の満足度の比較の報告が行われました。このほか、手術後に、食べる機能が著しく低下した高齢の入院患者に対してリハビリを行った結果、再び食べる事ができるようになった症例や、局所的な歯の矯正治療事例の発表なども行われました。いずれの発表も患者の利便性や満足度を向上するためにどのようなことを行う必要があるのかを考えたものとなっており、各事例の発表後には活発な質疑が行われました。さらに、栃木県の自治医科大学で行われている生活習慣病と遺伝子との関連の研究について、その現状が報告されました。

また、京丹後市消防本部の救急隊員からは、「救命の基本は医療機関と救急隊の連携が大切である」と救急医療の実情についての報告もありました。今回の院内学会は、病院職員からの多くの要望の声により実現したのもで、今後も継続して開催する予定。病院では、同学会の研究成果をまとめ、市民講座を開催し、市民の健康づくりに発展させたいと考えています。

「ぶがりん」と題した「第八回つなごう手と手愛あいコンサート」(つなごう手と手愛あい倶楽部主催)が開かれ、市内外から集まった親子連れなど約二百人が「つながりあそび・うた」体を動かしたりダンスを踊ったりして楽しい時間を過ごしました。コンサートの出演は、「ぶがりん」の愛称で知られる二本松はじめさん。二本松さんは、「つながりあそび・うた」研究所」所長として全国各地でコンサートなどを開き元気で笑いを届けています。午前十時から始まったコンサート・遊びでは、歌を歌うだけでなく、ストーリー仕立てにしたつながりあそびが行われ、親も子どもも会場をとことん狭しと動き回ったり、ステージに上がってダンスを踊るなど、会場は終始、笑顔や笑い声に包まれていました。このコンサートは、旧網



写真中央のマイクを持っている「ぶがりん」こと二本松はじめさんと楽しそうに遊ぶ参加者

ぶがりんごみんなが遊ぼう

親子で歌や踊り楽しむ

「ぶがりん」と題した「第八回つなごう手と手愛あいコンサート」(つなごう手と手愛あい倶楽部主催)が開かれ、市内外から集まった親子連れなど約二百人が「つながりあそび・うた」体を動かしたりダンスを踊ったりして楽しい時間を過ごしました。コンサートの出演は、「ぶがりん」の愛称で知られる二本松はじめさん。二本松さんは、「つながりあそび・うた」研究所」所長として全国各地でコンサートなどを開き元気で笑いを届けています。午前十時から始まったコンサート・遊びでは、歌を歌うだけでなく、ストーリー仕立てにしたつながりあそびが行われ、親も子どもも会場をとことん狭しと動き回ったり、ステージに上がってダンスを踊るなど、会場は終始、笑顔や笑い声に包まれていました。このコンサートは、旧網

自動車リサイクル ユーザーも費用を負担

今年1月から

使用済み自動車のリサイクル・適正処理をより促進するために、自動車リサイクル法が制定され、今年一月から施行されました。

このことにより、シュレッダーダスト(※)や、エアバッグを自動車メーカーでリサイクルすることになり、将来は車の重量の九五%がリサイクルされることとなります。

日本では、年間約四百万台の使用済み自動車が発生し、国内でリサイクル・処理されています。現在、自動車一台あたり重量比で八〇%がリサイクルされていますが、残りの二〇%はシュレッダーダストとして埋め立て処分されています。

しかし、この埋立処分場の残容量がひっ迫しており、シュレッダーダストの処分量を減らす必要が出てきました。また、処分費が高騰していることや不安定な鉄スクラップ価格の影響などから、現在のリサイクル・処理システムが

うまく機能せず、不法投棄などの懸念も生じる状況となっています。自動車リサイクル法では、現在行われているフロンガスの回収に加えて、エアバッグの適正処理、シュレッダーダストの適正処理も実施。このため、メーカーだけでは費用の負担がまかないきれなくなることからユーザーにも負担を求めることとなったのです。リサイクル料金は、今年一月以降新車で購入した場合、車両購入時に支払うこととなります。また、現在所有している車両については、一月以降の車検の時に、車検を受けずに廃車にする場合は引取業者に引き渡す時に支払うこととなります。リサイクル料金を支払った証明として「リサイクル券」が発行されます。この券は、車検や廃車手続きの時に必要となりますので車検証と一緒に大切に保管してください。

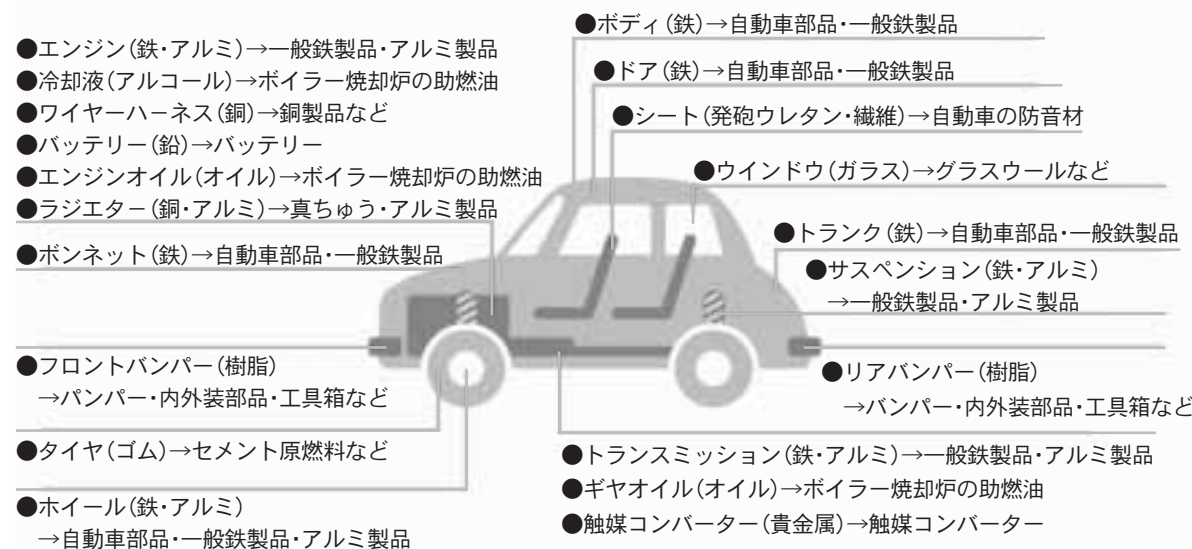
リサイクル料金の水準

区分	リサイクル料金の水準 (3品目合計)
普通乗用車：エアバッグ4個、エアコン有	1万円～1万8千円程度
軽・小型乗用車：エアバッグ4個、エアコン有	7千円～1万6千円程度
中・大型トラック：平ボディ、エアバッグ4個、エアコン有	1万円～1万6千円程度
大型路線、観光バス：エアバッグ4個、エアコン有	4万円～6万5千円程度

なお、リサイクル料金はメーカーや車種によって異なりますので、最寄りの自動車整備工場や自動車販売店へお問い合わせください。

(注) 上記料金のほか、リサイクル料金の管理に必要な資金管理料金(380円または480円)と、使用済み自動車の情報管理に必要な費用として情報管理料金(130円)を支払う必要があります。

使用済み自動車のリサイクル用途



※シュレッダーダスト
解体自動車を破碎し金属などの有用なものを回収した後

に残るプラスチックやゴムなどのこと

第6回

消費生活ミニ講座

訪問販売などの特殊な契約について、消費者を保護するための法律「特定商取引に関する法律」（特定商取引法）が改正され、11月11日に施行されました。

特定商取引法とは？

訪問販売など消費者トラブルを生じやすい「特定の取引」を対象に、トラブル防止のルールを定め、事業者による不公正な勧誘行為などを取り締まるとともに、消費者取引の公正を確保することを目的とした法律です。

「特定の取引」として、「訪問販売」・「電話勧誘販売」・「通信販売」・「特定継続的役務提供」・「連鎖販売取引」・「業務提供誘引販売取引」の6つが定められています。

最近、販売目的を隠して消費者のかたに近づき、ウソや誇大なセールストーク、しつこい勧誘によって高額な商品売りつける悪質な販売方法が増えています。

法律の改正により、上の6つの「特定の取引」のうち、「訪問販売」・「連鎖販売取引（マルチ商法）」・「業務提供誘引販売取引（内職・モニター商法）」において勧誘をしようとする場合は、勧誘目的であることをはっきりと示すとともに、重要な事項（契約の締結が必要となる事情や消費者の判断に影響を及ぼす事項）について、きちんとした説明を行うことが義務づけられ、もしも重要な事項について、不実告知（うその説明）をした場合は、消費者がこれを信じて契約した場合でも、契約後一定の期間であれば契約を取り消すことができます。

※「訪問販売」は8日以内、「連鎖販売取引（マルチ商法）」・「業務提供誘引販売取引（内職・モニター商法）」は、20日以内

例えばこんな場合…

突然セールスマンが訪ねてきて、水道管の点検を無料で行ってあげると言い、家にあがりこんで点検を行いました。点検が終わった後、「この水道管は、腐っています。このままでは健康によくない」などと言われたので、そのセールスマンの言うことを信じて、高価な浄水器を購入してしまいました。後日、市役所の水道課に確認したところ、「水道管が腐っている」というのは、全くのウソであることがわかりました。

この事例では

「この水道管は、腐っている」（契約の締結が必要となる事情）や「このままでは健康によくない」（消費者の判断に影響を及ぼす事項）について、うその説明を行っていたことになり、したがって、その説明を信じて契約した場合でも、契約書面を受け取った日を含めて8日以内であれば、契約を取り消すことができます。

契約解除の方法 クーリングオフ制度

消費者が、訪問販売などにより契約（申し込み）をした場合でも、契約書面を受け取った日を含め8日以内（特定の商法によるものは、20日以内）であれば、無条件で契約を取り消すことができる制度です。

相談窓口

京都府消費生活科学センター（☎075-821-0210）
京都府丹後広域振興局商工観光室（☎62-4304）
京丹后市商工振興課（☎69-0440）または市民局地域事業課

来場者の心をひくやす
温かな作品展

第13回障害者週間を記念し「記念作品展」



ぬくもりの感じられる作品の数々

「障害者週間」（十二月三日〜九日）を記念して、市身体障害者団体連合会と京丹後市が共催により、市内の障害のあるかたが日ごろ製作されている陶芸や手芸品を一堂に集めた「記念作品展」を十二月五日と六日の二日間、峰山地域公民館（峰山町杉谷）で開催し、心温まる作品が会場を彩りました。会場には、陶芸や書をはじめ、Tシャツをさいて織ったマットや、手織機で一本一本丁寧に織り上げられたポンチョなど、製作者の気持ちが伝わる作品が数多く展示され、来場者は一つひとつを丹念に見入り、心をいや

されたいました。
「障害者の日・障害者週間」
「障害者の日」は、昭和五十年に国際連合が障害者のかたの権利を具体的に示した「障害者の権利宣言」を採択した日にちなんで「国際障害者年推進本部」により決定され、平成五年十二月に障害者基本法で十二月九日を「障害者の日」とすることが明記されました。
また、平成七年度からは、十二月三日の「国際障害者デー」から九日の「障害者の日」までの一週間を「障害者週間」と定め、各地でさまざまな行事などが行われています。

入賞されたみなさん

- 京都府選挙管理委員会委員長賞
増田 理来（宇川小学校1年生）
京都府明るい選挙推進協議会会長賞
稲岡 逸生（三津小学校1年生）
入選
奥野 伸吾（三津小学校1年生）
中西 奈々（橘小学校1年生）
小倉 克介（黒部小学校1年生）
山本 佳依（橘小学校2年生）
渡利菜里奈（丹波小学校3年生）
金子 佳奈（吉原小学校6年生）
平林 佳樹（峰山高等学校2年生）
佳作
平井 航稀（溝谷小学校1年生）
引野 立基（郷小学校1年生）
小川 祐介（大宮第一小学校1年生）
池田 結佳（大宮第一小学校1年生）
柳 和輝（吉野小学校2年生）
宿輪 彩（間人小学校2年生）
増田 怜司（新山小学校2年生）
堀 真由璃（大宮第一小学校2年生）
徳永 遥（丹波小学校3年生）
井戸崎つぐみ（久美浜小学校3年生）
西村 明奈（大宮第一小学校3年生）
梅上 優哉（大宮第一小学校3年生）

このポスターは、選挙

権を持つ前の児童や生徒のみなさんに政治や選挙に対して関心を持つってもらうとともに、投票への参加と明るくきれいな選挙の推進を目的に募集されたもので、府内二千六百八名の応募の中から選ばれました。
入賞作品は今後、選挙啓発用のパンフレットやチラシなどで広く活用されます。



京都府明るい選挙推進協議会会長賞
三津小学校1年生
稲岡 逸生さん



京都府選挙管理委員会委員長賞
宇川小学校1年生
増田 理来さん

明るく

きれいな

選挙を願う

京丹後市の文化財 八

丹後町宮

神明山古墳 (しんめいやまいふん)

丹後町宮にある神明山古墳は、丹後半島を南北に流れる竹野川河口の東岸の丘陵を利用してつくられた前方後円墳(鍵形のマウンドをもったお墓)です。

古墳は、墳丘全長一九〇m、後円部(円形マウンド側)の直径一二九m・高さ二六m、前方部(方形マウンド側)の幅七八m・高さ一五mあり、網野町の銚子山古墳とともに日本海側では最大の前方後円墳です。

マウンドの斜面は、川原石を貼り付けています。(これを葺石(ふきいし)といいます)また、斜面の途中には二か所のテラスがあり、このテラスには円筒埴輪(筒のよな焼き物)が巡っていました。この円筒埴輪は、「丹後型」と呼ばれるもので、丹後独自の地域性をもった形のもので、

この古墳は、これまでに発掘調査は行われていませんが、後円部に扁平な石が見られることから、古墳に葬られた人は、竪穴式石室(板石を積み上げて造られた部屋)

に葬られたと推定されています。

これまで知られている出土品として注目されるのは、明治二十六年(一八九三年)に発見され、現在は東京大学にある石製模造品です。これは、やわらかい滑石(かっせき)という石を用いてつくられたミニチュアのものであり、お祭りに用いられたと考えられています。このほか埴輪では、表面に舟をこぐ人物をへらで描いたものがあります。これまでに知られている資料から、古墳がつけられたのは、古墳時代中期(五世紀)と推定されています。

神明山古墳がつけられたころは、古墳のふもとに「竹野潟」と呼ばれる湾が広がっていました。竹野小学校のある丘陵から道の駅テンキテンキ丹後の方角に向かって砂洲が延び、「竹野潟」はこの砂洲と丹後市民局のある丘陵との間の狭い部分で日本海とつながっていました。(現在の久美浜町湊宮と同じようなイメージです)日本海側は波が荒いですが、「竹野潟」



神明山古墳

側は波もおだやかで、天然の港であつたと考えられます。砂洲上には、弥生時代前期から竹野遺跡という集落が展開しています。

神明山古墳は、この港を一望できるところに立地し、港を支配して交易を行っていた有力者の姿が目につかびます。「古事記」・「日本書紀」には、開化天皇のお妃になつた人物として「竹野媛」が出てきており、何らかの関係が想像できます。

神明山古墳は、正式な発掘調査は行われていませんが、日本海側最大の前方後円墳ということが評価され、大正十二年(一九二三年)三月七日に国の史跡指定を受けています。

活躍を期待して頂きます

青年海外協力量として

パプアニューギニアのマダン洲マダン市へ

独立行政法人国際協力機構が行う「青年海外協力量」の平成十六年度第二次隊として、隍一胤(ほり・かずたね)さん(大宮町口大野)が、パプアニューギニアのマダン洲マダン市へ、土木技術者として派遣されることになりました。

京丹後市域としては、合併前の六町から同隊に十五人が派遣されていますが、新市誕生後は初の派遣になります。

隍さんは、峰山高等学校出身で大学卒業後、大阪の建設会社に入社。これまで、橋りょうやトンネル建設などのインフラ整備に従事されてきましたが、「発展途上国で役に立ちたい」と応募されました。出発を前に十一月二十九日、中山市長を表敬訪問

力強く抱負を語られる隍一胤さん(右)



され、中山市長が「最近では顔が見える国際貢献が求められています。大変誇らしいことであり、活躍を期待しています」と激励すると、隍さんは「言葉の問題など少し不安ですが、現地ですべて役立てるか、自分をためてみたい」と力強く抱負を語られました。

市立図書館 ご案内

1月の新着図書

書名	著者	所蔵館
嗚呼、香ばしき人々	山本 一郎	峰山図書館
9歳の人生	ウィ・ギチヨル	峰山図書館
犯人に告ぐ!	雫井 脩介	大宮図書室
キッパリ!	上大岡トメ	大宮図書室
源義経	上横手雅敬	弥栄図書室
石田節子実演きもの着こなし術	石田 節子	弥栄図書室
知りたがりやの猫	林 真理子	あみの図書館
ニッポンの風景	島田アツヒト	あみの図書館
地球のはぐれ方	村上 春樹ほか	丹後図書館
千の風にいやされて	佐保美恵子ほか	丹後図書館
デイヴ さよなら!と呼ばれた子	デイヴ・ベルザー	久美浜図書室
明かりが消えたそのあとで	マーガレット・リード	久美浜図書室

書名	著者	所蔵館
なんだってしてあげるよ	ジョン・ウォレス	峰山図書館
ちいさい おおきい	香山 美子	峰山図書館
サジュエと魔法の本(上・下)	伊藤 英彦	大宮図書室
もったいないばあさん	真珠まりこ	大宮図書室
1がつのこうさく	竹井 史郎	弥栄図書室
ミツケ!	ウォルター・ウィック	弥栄図書室
魔空の森ハックスウッド	タイアナ・ウィン	あみの図書館
ガンブ 魔法の島への扉	エヴァ・イボットソン	あみの図書館
京の夢、明日の思い出	九里 一平	丹後図書館
てんくんのおくりもの	狩野富貴子	丹後図書館
地獄堂霊界通信	香月 日輪	久美浜図書室
ドライブにいこう	間瀬なおたか	久美浜図書室

(図書館・図書室の新着分の一部を紹介)

おすすめの本

『人生という旅』

小檜山 博 著 (講談社)

著者が出会った愛すべき人々との心温まる58の物語。波瀾万丈の人生に、思わず笑みがこぼれたり、そっと涙をぬぐったり。

北の国に生きる素朴でたくましい著者の人間愛に満ちたストーリーに「世の中捨てたもんじゃないな…」と、勇気づけられる人も多いはず。ほのぼのとした温かさに心包まれて、ちょっと元気をもらったら、さて、今年もひとつがんばりましょうか…。

本書を所蔵している館

峰山図書館・あみの図書館

明けまして おめでとうございます

昨年は、合併して京丹後市内のどこの図書館(室)へも行けるようになり、みなさんの図書館利用も広がったのではないかと思います

本年もみなさんに親しんでいただけるように努力したいと思っておりますのでよろしく願い申し上げます



2005年 元旦

京丹後市立図書館

利用者の声

「リクエスト」 吉岡 拓弥さん(峰山町矢田) ぼくは図書館をよく利用しています。

図書館は、とても静かで勉強もできます。そして、自分の読みたい本がなければリクエストして、ほかの図書館から借りてもらいます。本が図書館に届いたら家に電話がかかってくるので、すぐに借りに行きます。読みたい本が借りられて、すごくうれしいです。

みなさんも図書館に行って好きな本を見つけてみてください。

※当市では、K-Libnet(京都府図書館総合目録ネットワーク)を利用して、4月~10月までの7か月間に1,637冊の図書を他館から借りて貸し出しました。市内の図書館・図書室に目当ての図書がない場合は、お気軽に図書館員に声を掛けてください。できる限りご要望にお応えします。



ブックスタートでの読み聞かせ

冬の到来を告げる

「みの着せ」

平地地蔵



冬本番の到来を前に、大宮町上常吉の平智山地蔵院で十一月二十三日、「平地地蔵」に、わらで編んだ防寒用の「みの」と「ずきん」を着せる「みの着せ」が行われました。

「みの着せ」は、以前は「こも着せ」とも言われ、雪の降る前、近年では十一月二十三日に行われており、丹後に冬の到来を告げる恒例行事となっています。

この日は、地元の世話人会（村尾博代表）のみなさんなど六人が午前八時に境内に集合。常林寺の西村泰丈住職の読経の後、はしごや竹ざおを使い、慣れた手つきで重さ六十キロもある「みの」と「ずきん」を、豪雪にも



はしごをかけ、丁寧に着せ込みました

大丈夫なように、約一時間をかけて丁寧に着せ込みました。

平地地蔵

平地峠を見下ろすお地蔵さんは、府内一の高さと言われ、台座を含めて高さ五・三メートル。

この「文政丹後一揆」で、藩に捕らえられた地元出身の吉田新兵衛（旧姓鈴木）と吉田為治郎（野田川町石川）は、拷問にあいながらも仲間を明かさず死。この二人の成仏を願い、天保三年（一八三二年）に「平地地蔵」は建立されました。

二人の菩提を弔うことを事由にしては、造立を認められなかったため、村人を苦しめていた山賊の退散を願って建立したものと伝えられています。

また、「平地地蔵」の顔に黒い「あざ」のようなシミがあることから、「あざとり地蔵」とも呼ばれ、信仰を集めています。

江戸時代後期、当地域を治めていた宮津藩が、安易に増税に踏み切ったことに反対して、文政五年（一八二二年）の十二月に領民が一齐に立ち上がりました。それに対し藩側は、増税の中止や捕らえた首謀者の釈放を約束しましたが、翌年には首謀者をはじめ多く

発行／京丹後市役所 編集／秘書広報課
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
☎0772-69-0001 FAX0772-69-0901
ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>
E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp

人口のうごき

男	31,745人
女	34,352人
計	66,097人
世帯数	21,940

(12月1日現在)